

石巻震災土蔵メモリアル基金
一本間家の土蔵を震災メモリアルに

*** 本間家の土蔵について**

このたびの大津波により石巻市の沿岸部は壊滅的な状態になっておりますが、門脇町二丁目には奇跡的に流出・倒壊をまぬかれた土蔵が一棟残されています。明治三〇年に建築された本間英一家の土蔵です。押し寄せた激流と流出家屋の激突に耐え、瓦礫に埋もれるように残った土蔵の痛々しい姿は、津波の激しさを物語っています。

本間家の土蔵は明治30年(1897)に建築されました。ご先祖は江戸時代に廻船業を営み、明治時代になると手広く金融業を営むかたわら、三陸商社や米商会社、石巻商業講習社などの設立に関わるなど、当地の産業の近代化に尽力しました。あわせて町会議員、郡会議員、石巻町長などの公職も歴任しています。

本間家の土蔵は歴史的建造物としても貴重なものですが、私たちは大津波に耐えて残ったこの土蔵を、大震災と大津波の貴重なメモリアルとして、さらに石巻復興の力強いシンボルとして、未来に残したいと考えております。そのためには今後検討されていく石巻市の復興計画・都市デザインのなかに、この土蔵を震災メモリアルとして保存・継承していただく必要がありますので、5月25日に石巻市長に要望書を提出しました。

*** 修復保存費用について**

石巻市に保存のための財政的負担を求めることはいたしません。石巻若宮丸漂流民の会と石巻千石船の会が中心となって全国から寄付を募ることにしています。ぜひ多くの方々のご協力をお願い申し上げます。

募金の名称／石巻震災土蔵メモリアル基金
募金の主体／石巻若宮丸漂流民の会 「石巻千石船の会」
寄付の振替口座／郵便振替口座
加入者名／石巻若宮丸漂流民の会
口座番号 00210-1-12841
問合せ先／木村宅(石巻若宮丸漂流民の会々長)
電話022-229-7034